

# 秋田大学県立大学シラバス

秋田県立大学のシラバスはWeb上でご覧ください。

<https://syllabus.akita-pu.ac.jp/campusweb/slbssrch.do?clearAccessData=true&contentam=slbssrch&kjnmnNo=3>

## 【使用手順】

- ① 履修対象科目一覧を見て、気になった科目を「講義名」に入力する。  
※開講期や開講キャンパスを絞って検索することもできます。
- ② 「シラバスを検索する」をクリック
- ③ 検索して出てきた科目名をクリック
- ④ シラバスをダウンロードしたい場合は一番下までスクロールした後、  
「PDF」をクリック

シラバス検索

検索条件

シラバスを検索する年度を選択し、各検索条件を入力して検索してください。

2016 年度

シラバスを検索する

シラバス検索条件

講義名 ① 生体調節学概論 (部分一致)

教員名 (部分一致)

キーワード 全てを含む

※キーワードを複数指定する場合は全角スペースで区切ってください。

講義期間 --未選択--

キャンパス --未選択--

さらに詳細な検索条件を表示する

シラバスを検索する

シラバス検索

シラバス検索

シラバス検索

前画面へ戻る

講義一覧

シラバスを参照する講義名をクリックしてください。

1-1件表示/11件中 10 件表示

No	講義コード	講義名	開講期間	曜日・時間	担当教員
1	2016123111	生体調節学概論			穂坂 正博

1-1件表示/11件中 10 件表示

前画面へ戻る

シラバス検索

シラバス検索

シラバス検索

シラバス検索

シラバス検索

第4週	特異的シグナル伝達システム
第5週	非特異的シグナル伝達システムの例(正常免疫応答について:志村先生担当)
第6週	非特異的シグナル伝達システムの例(免疫シグナル伝達の分類について:榎下先生担当)
第7週	炎症性シグナル伝達をつかさどる分子
第8週	細胞性シグナル伝達をつかさどる分子
第9週	ホルモン系生物学の基礎知識+小テスト(範囲:生体調節学全般)
第10週	ホルモンの分泌機構にかかわる分子
第11週	ホルモンの合成、作用、調節にかかわる分子
第12週	神経伝達をつかさどる分子機構
第13週	神経伝達物質の合成、作用、調節にかかわる分子機構
第14週	神経伝達物質の受容体とその分子機構
第15週	神経系、内分泌系、免疫系のクロストーク+小テスト(範囲:神経系、内分泌系) 第15週の授業開始時刻がレポート提出日である。

授業時間外学習の期待

授業の計画または事前に学習された資料で授業内容を把握し、書籍やインターネットを利用して関連する知識を事前に習得しておくこと。関連する視覚的資料も事前に把握しておくこと。

成績評価の方法

出席態度等(20%)、小テスト2回(40%)、レポート(40%)により評価する。

テキスト・参考書等

参考書:『サダグチ 魚養、石橋英樹、丸山敬 監訳『細胞シグナル伝達』アクリカ版 大分県立大学理学部 第1-3巻』講談社 1,300-1,500円(税別)

履修上の留意点

応用出席を要する。授業中の質問など、積極的に学ぶ姿勢を求め、分子生物学の履修を続けていることが望ましい。その他「ラーニング・ポートフォリオ解説書」に記載する。

添付資料

無

資料

無

備考

オフスアワー(後期第4週) 16:10-17:40/D128/O116(研究室)

TP

<http://www.akita-pu.ac.jp/campusweb/slbssrch.do>

検索結果一覧へ戻る

PDF